

2. 心のいのちの死

① 仏教におけるいのち  
古来、多くの人がいのちの由来を考えてきた。私たちはどこから生まれ

死は縁によって成立していた私のいのちが、縁の消滅によってゼロ・空にもどる。この如來の智慧を悟ると、煩惱や束縛から解放され、死の恐怖と苦しみを克服することができ、死を心豊かに受け入れることが出来る。

各寺報恩講日程

Table with 5 columns: 日程, 曜, 寺院名, 地区, 時程, ご講師. Lists various Buddhist temples and their dates for memorial services.

\*蓮如上人遠忌法要  
\*\*親鸞聖人大遠忌法要  
\*\*\*住職繼職法要

一口法話

前島 本宗寺 内本隆宏

多様性について  
近年の社会生活における重要なキーワードとして「ダイバーシティ」という言葉がよく取りあげられています。

この「ダイバーシティ」の言葉には「多様性」という意味があります。地球環境においては、生物や植物の多様性と考えることができます。

動物の種類、昆虫の種類、花の種類等、多く共存することに意義があり、「種」の数が少なくなる事を防ぐために絶滅危惧種を保護するなどしながら、多様性を守ってきているのです。

人間社会での「多様性」とは、国籍、生活スタイル、宗教、価値観なども多様である事を指し、いまや教育の過程でも、多様な価値観の中で考え、学ぶという「ダイバーシティ」はとても重要です。



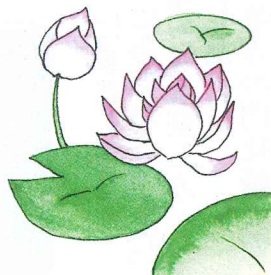
島上南組だより

浄土真宗本願寺派  
2019年(令和元年)7月  
第10号  
編集・発行  
高槻市大塚町西證寺内  
島上南組実践運動委員会

組長ごあいさつ

島上南組組長 尾崎貞良

「令和」と元号が変わり二ヶ月が経ちました。少なからず混乱はありましたが、祝賀ムードで明るく始まった様に思います。



昭和から平成に変わった時とはずいぶん様子が違います。振り返れば昭和六十四年(一九八九年)一月七日、昭和天皇が崩御され、国中が追悼の意を表す様に、派手な行事や広告は一切自粛、演芸やお笑いもテレビから消えました。

平成三年にはバブルが崩壊し、土地や株価が暴落し一気に低成長へと向かい、格差社会が顕著になり追い打ちをかけるように、平成七年には阪神淡路大震災やオウム真理教によるサリン殺人事

件など悲しい出来事が続きました。

「内平らかに外成る」(史記)や「地平らかに天成る」(書経)の引用から元号が「平成」となったものの、現実には天変地異が頻発したのが平成時代でした。

神様への「祈願」は切実なものがありますが、祈って願いが叶うならば、医者も薬も不要で、お金に困る人もいなくなります。

一方で仏教の教えには、「諸行無常」ということばがあります。「形あるものは常に変化し、増えたり減ったり、いずれ壊れ無くなっていく」という意味です。

私たちがその世にあって、減らしたくない、失くしたくない、終わりたいくないと、世の道理に反して自分自身を苦しめる生き方をしている迷いの我が身を自覚したとき、「南無阿弥陀仏」と呼びかけ、真実の教えを聞き、南無(帰命)帰順(教命)することによって決して滅びることのない幸せ(菩提心)を得ることができるのです。

私が祈願する前から、本願(念仏を称える者を浄土に生まれさせたいという願)をもって迷いを知らせ、悟りの浄土へ振め取られていた安心の内に「ナンマンダブ」と、共に助け合って「令和」の時代を、限らない究極の楽土「極楽」に向かって生き抜かせていただきます。



### 総代会より

総代会会長 玉村圭二

#### ◆新年互礼会

一月十九日(土)島上南組新年互礼会が高槻市民会館で南組各寺から一〇八名が参加して盛大に開かれました。  
今年の当番寺院は圓成寺・本宗寺で、オープニングは京都女子大学よさこいメンバーのチーム名「京炎そでふれ!京小町」による京都らしい曲・振り・衣装で四竹という鳴り物を持つての踊りで始まり、各寺院参加者の紹介、カラオケ大会、仏教婦人会のコーラス・ハンドベルと賑やかに親睦を深めた二時間半でした。

#### ◆一日研修会

三月二十八日(木)に島上南組一日研修会が行なわれました。  
南組各寺の九十四名で蓮如上人ゆかりの浄土真宗本願寺派本福寺(滋賀県大津市堅田)に参拝しました。琵琶湖名勝の浮御堂に近く、風光明媚なところにあるお寺でした。参拝後は「琵琶湖グランドホテル」で昼食に旬の味を楽しみ、「道の駅琵琶湖米プラザ」に寄り帰路につきました。今年も良い天気恵まれた中で研修ができ、他寺の門徒様との親睦も深まり楽しい一日となりました。



#### ◆若婦部より

若婦部副部長

小西博美

第2回若婦研修会は、クラフト「アロマワックスサシェ」を作りました。  
各寺使用済みロウソクの再利用として、集めたロウソクを砕いて溶かし、アロマオイルを入れ最後に造花の花で表面を飾り完成です。お部屋のインテリアに、また玄関やクローゼットに入れ芳香剤としても使用できます。皆さん作品だけではなく、おしゃべりにも花を咲かせていらっしやいました。



#### ◆仏教婦人会より

仏教婦人会書記 井上米子

七月八日から一泊二日で仏教婦人会会員五十三名は本願寺へ念仏奉仕に行ってきました。  
会員の皆さんは割烹着姿でピンクのタスキをかけ、御影堂の柱、畳、棧、など拭き掃除の奉仕を致しました。  
清掃の後、ご門主様と、一緒に御影堂で記念撮影をして、お言葉をいただきました。

二日目は朝六時、御影堂において、讃仏偈と正信偈をお勤めし、その後の帰敬式には組内より二名が受式されました。奉仕は阿弥陀堂、御影堂、渡り廊下と普段は入れない喚鐘廊下の掃除をしました。

終了後には、書院で抹茶接待を受け、一般公開していない国宝「飛雲閣」を拝観させて頂きました。参加された方々は感動をされていました。

閉会式において島上南組は「第二十回の奉仕活動」で表彰を受け、また個人でも会員四名が「十回、十五回奉仕」で表彰されました。参加者全員けがも体調不良もなく暑い中、無事に念仏奉仕を終える事が出来ました。皆様のご協力に感謝致します。

年々「念仏奉仕」への参加者が少なく、なりませんが、二十五回、三十回と継続させ、ご奉仕に参加させて頂きたいと思っております。



### 揚風会より

尊重寺 諸橋 匠

去る、六月二十二日(土)高槻市生涯学習センター(多目的ホール)にて、第三十二回仏教講演会を開催しました。

講師に上田紀行氏(東工大・リベラルアーツ研究教育院長)を招き、「愛すること、生きること、自分も輝き、世界も幸せになる生き方とは」をテーマにお話いただきました。リベラルアーツとは、人間を自由へと解放し、人間形成のための学問を指します。「問いを立てる力」「探究心」「思考力」「創造力」「自由な表現力」を養い、豊かな人間性を育てる教育分野です。

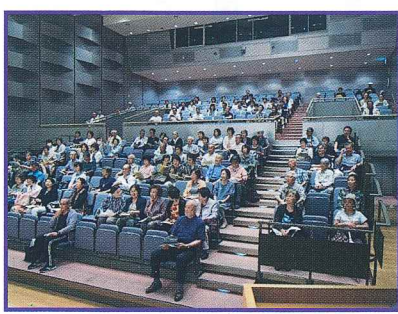
上田先生は、「目覚めよ仏教!グライ・ラマとの対話」、「生きる力としての仏教」など、仏教を「心の科学」という観点からとらえた本を数多く書かれています。

日本は世界有数の富裕国なのに何故、充たされない思い、不満、不自由さ、生きづらさを抱えている現代人が多いのか。他人の評価を気にし、失敗を過度に恐れる。自らを絶対化し、多様な存在を遠ざける。そんな自らのありよう、社会のありようが生きづらさの根本にあります。

この講演では自己中心的な欲求(煩惱)にとらわれたありようを脱し、自らの苦悩を解決し、他を救済していくこと(自利利他)に目覚め、さとりへと導くのが仏教の教えであることを分かりやすく解説していただきました。

来場された方々には充実した講演会になったと思います。

また、今回は、インターネットを使った告知、事前申込み制、会場の変更など、初めての試みを行いました。また来年、より良い講演会になるよう揚風会会員一同、頑張ってくださいませ。ご来場いただいた皆さまありがとうございます。



#### ◆「いのち」を考える(その一)身心の死

法善寺住職 辻本昭信

この度、組報担当の藤井副組長から、「いのち」についての執筆依頼があった。

私は若い頃、少しのあいだ生物学の研究を志したが、様々な事情と適性や能力を考えてすぐに方向転換し、教育の魅力に引かれて生物教員になった。

以来、「いのち」を科学の面から、また宗教の面から考える環境に恵まれた。ここでは、いのちを分かりやすく、身のいのち(生物)と心のいのち(精神)に分け、身心の死をとおして考えてみる。

##### 1. 身のいのちの死

生き物とは呼吸(息は生き物の生きに通じる)をし、エネルギーを得て生命活動をするものと定義する。

ヒトの生命活動の停止(身のいのちの死)は、三つの徴候(心臓停止、呼吸停止、瞳孔反応停止)によって判定される。死はこの身の死がすべてで、「死んだらおわり、心の死なんてない。」と考え、物質的にのみ死を受けとり、割り切っている人も多い。

なお、話題になった脳死は、延命のために使われる人工呼吸器(人工心肺)が作動しているとき、いくつかの脳検査を行い、脳のすべての働きが停止したことをもって、三徴死以前に死と判定するものである。自発呼吸ではないが心臓が動いていて、体が温かい時に死と判定し、臓器移植を行うためにこの人の臓器を早く取り出すのである。

死は徐々に進むもので、最後は三徴死として自然に受け入れられるのが自然である。仏教は、いのちを心と身は一体、「心身一如」と捉える。心臓が動いている間は心も存在していると考えるので、脳死は心理的に受け入れがたい。

